

まちを動かす  
次の一手を  
つかみとる



## 認知症まちづくり ファシリテーター講座 参加チーム募集！

2020年  
第5回開催！

1日目：1月18日(土) 11～18時

2日目：1月19日(日) 10～17時

- 会場  
渋谷 if space  
(東京都渋谷区渋谷 3-10-5 TOHTAMビル 4F)
- 参加対象  
認知症の課題を核に地域や組織に変化を起こしたい方、3人1組のチーム参加(専門性や属性の異なる3名)。詳細は申込ページをご確認ください。
- 参加費  
10万円(1名につき・税別)  
※3名1チームの参加になります。最大10チーム  
締切：12月13日(金) 24:00まで  
※選考結果は12月18日(水)までにお知らせします。



◀ 申込フォーム

<https://forms.gle/7vBCsXtedTUHNeFz5>  
問合せ：machi@dfc.or.jp

■ 認知症まちづくりファシリテーター講座は会議の進め方やファシリテーションの技術を学ぶだけの講座ではありません。

これまで認知症の課題に対して、いろいろ取り組んできたけれど、ただ自分たちががんばるだけでは解決しないのではないかと考えている方に向けて、どうすれば立場の違う人と本当の意味で課題を共有できるのか、どのような問いの設定をし、どのような場を作れば、前に進むことができるのかを一緒になって考える機会です。

全国の様々な分野でイノベーションを起こしてきた株式会社フューチャーセッションズの皆さん、そして認知症の課題を入り口にまちの姿を変えつつある地域の皆さんにご協力をいただき、問いの立て方、対話の場の設計を実践形式で学びます。

4年間実施した講座の経験から、「立場の異なる3人が本気になれば、本当にまちは変わる」という確信を得ました。個人のスキルアップを目指した研修やセミナーとは違いますので、原則、個人参加はできません。同一地域から3人1組での参加となります。認知症の課題は、まちのあり方を変えないと解決しないという信念をもった皆さんの、チームでの参加をお待ちしています！

◡ 私たちが全力で応援します！ ◡



医療法人静光園 白川病院医療連携室長(大牟田市)  
猿渡 進平



株式会社フューチャーセッションズ セッションプロデューサー  
芝池 玲奈



NPO 法人認知症フレンドシップクラブ理事、DFC パートナース取締役  
徳田 雄人

主催：株式会社 DFC パートナース  
共催：NPO 法人認知症フレンドシップクラブ  
株式会社フューチャーセッションズ  
認知症未来共創ハブ

# 認知症まちづくりファシリテーター講座 プログラム

認知症の人が住み慣れた地域の多様なステークホルダーと連携し、新しい解決策を創造していくために必要な「問いづくり」と「ファシリテーションスキル」を学んでいきます。

DAY 1



## 1. オープニング

全国各地から集まった参加チームの自己紹介を行い、受講生同士の関係性を作ります。

DAY 2



## 4. ファシリテーション実践!

DAY 1 で設計したセッションをチームで実践。ファシリテーションしない時は、他のチームのセッション参加者となります。



## 2. 手法の理解と体験

認知症まちづくりを進めるための6つの対話手法を紹介。講師のファシリテーションの体験を通じて、手法や適用シーンについて理解を深めます。



## 5. 実践の振り返り

30分ミニセッションのファシリテーションと他チームのセッションへの参加を通して得た気づきや学びを振り返ります。



## 3. 実践準備

参加チームごとに、自分たちの地域で認知症まちづくりを進めるための問いを考え、30分のミニセッションを設計します。



## 6. ネクストステップ作成

自分たちの地域でどのように認知症まちづくりを進めていきたいか、ネクストステップを検討します。それぞれのネクストステップを共有し、地域を超えて一緒に認知症まちづくりを進めていくことも考えます。

## ■ 修了生の感想

◎ 講座を通して何に取り組むのか整理でき、明確になったのが良かった。こういう対話の手法もあるのだと地域の専門職に伝えたい。上手な空間づくりなどもっと学びたい。

(自治体職員 / 女性)

◎ 全国のトップランナーと知り合えて嬉しい。みんなの事業から刺激をうけたい。

(自治体職員 / 男性)

◎ 2日間を経て、まちづくりの考え方や捉え方が変わった。認知症を取り巻く課題のみならず障害や貧困も含め、地域全体から「認知症にやさしいまちづくり」を展開していきたい。地域別懇談会を開催しているが、今年はよりパワーアップさせたい。

(社会福祉協議会 / 男性)

◎ 地元は問題だらけとは思っていたが、この講座に参加することで、何が問題なのかがはっきりとした。具体化した一歩が踏み出した。

(介護付き有料老人ホーム / 女性)

## ■ 「まちづくり事業」

- ・基礎編「認知症にやさしいまちづくりの始め方」(個人参加 / 半日)
- ・応用編「認知症まちづくりファシリテーター講座」(チーム参加 / 2日間)
- ・実践編「まちづくりワークショップ」(テーマ別)



※まちづくり事業の最新情報や、修了生インタビュー(社会福祉士、作業療法士、図書館職員)記事などを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://dfc.or.jp/machi>

## ■ 修了生の、活動と地域のその後

「行政や地元のお店など、まちの人達と活動を行うと、さまざまな意見や準備が広がっていくものです。そんな時、認知症まちづくりファシリテーター講座で学んだ、『問いの共有』が活かしました。何のための活動か、メンバーで立ち戻って考えを再確認することで、チームワークが強まり、プロジェクトを実行できました。

まちづくりを続けるには、人を頼って、人を巻き込まないと、みんなの目標を達成できないと思います。だからこそ、人と人をつなぐハブの役割が大事です。自分から、相手の状態に合わせないと、人と人をつなぐことはできません。講座の後、相手を知ること、その人を理解することを、すごく意識するようになりました。

東京都町田市  
森 光輝さん(高齢者施設企画室長)  
第1回 認知症まちづくりファシリテーター講座に、行政職員・地域介護職員のチームで参加。受講後、スターバックスでの「まちだ認知症Dカフェ」(写真)を開催、認知症当事者と作る「まちだアイ・ステートメント」作りや「まちだDサミット」の運営に関わる。



写真前右・森さん